

学校だより

やさしい子 たくましい子 考える子

11月号



黒門

令和4年11月1日

発行者 台東区立黒門小学校

校長 石田 隆

多くの支えを受けながら ○○ぶりの…

校長 石田 隆

3年ぶりの「連合運動会」 10月18日

午前・午後の2部構成で、区立小学校の6年生が台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場に一堂に会する「連合運動会」が開催されました。開会式で私は、小学校長会代表挨拶として、

「令和2年度の6年生、3年度の6年生は、ここには来ることができなかった。しかし、皆さんは、先生方の指導を受け練習を積み上げ、そして5年生から1年生の応援を受けて、今、ここにいる。『考えましょう！何のために ここに来たのか！』『見せましょう！自分がすべきこと』を！」と呼びかけました。

他校の児童と並んでスタートラインに立つ子供たちの緊張感に満ちた横顔。私は「応援は拍手のみとする」と実施要綱に書かれていたことも忘れ、自然と「がんばれ！いいぞ！」という声を発してしまいました。結果が数値に現れた児童もいますが、そうでない児童もいます。しかし、みんなが「自分がすべきこと」〈世界最高自分新記録に向かって挑戦すること・他校の児童を含め、友達を応援すること、励まし合うこと…〉が、できたのではないのでしょうか。この経験をこれからの学校生活でどのように生かせるかが楽しみです。

3年ぶりの「ミニバザール 黒門まつり」 [育ての会&黒門同窓会主催] 10月23日

「楽しかったです。さようなら」と、6年生の男児たちが帰っていきました。ゲームで手に入れた賞品を嬉しそうに見せてくれた子供も多くいました。好天に恵まれ、ゲームも飲食コーナーも大盛況で子供たちの笑顔がいっぱいでした。感染対策として、在校生・保護者を対象とした「ミニ」版での開催でしたが、同窓会ができなかった中学1、2、3年生と旧6年担任にも声かけしたので、随所で旧交をあたためている光景が見られました。計画から準備・運営、片付けまで、全保護者の皆様にお世話になったことを深く感謝致します。

また卒業生がスタッフとして活躍してくれたことも大きな喜びでした。その中の鈴木陸さんと平柳信彦さん(23歳)に、片付けの後に「来年は盆踊りもやりましょう」と言われました。このように子供たちが喜ぶ時間、卒業生が集える場となるならば、(本当は学校が主催ではないので決められなのですが…)「そうだね！是非」と思わず答えてしまいました。楽しみです。

4年ぶりの学芸会 どこで、なにが育つか 11月24・25・26日

本校では、文化的行事である「学芸会」「音楽会」「展覧会」を3年周期で実施しています。本来であれば昨年度が学芸会の年でした。しかし、検討時の感染状況が思わしくなく実施を見送った関係で今年度は、2年越しの待ちに待った学芸会となります。

私は、10月の児童朝会で、子供たちをジグソーパズルのピースにたとえ、『一人として欠かすことはできない存在』であることを伝えました。そしてそれは、学芸会の役・係としても同じことです。表に出る役、支える役、台詞が多い役、少ない役…誰もが大切な一人です。演技がうまかったとか、他に比べて上手にできたという評価でなく、学芸会を通して我が子や黒門の子供たちに、何が育ったかを見取っていただきたいと思います。